

全国



第 2272 号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

市議会旬報

令和6年
(2024年) 8月5日毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03 (3262) 5234
旬報 TEL 03 (3262) 5237
発行人 宮地 毅
https://www.si-gichokai.jp

議長会HP

多様な人材 市議会への参画促進

第168回 地方行政委員会

渋川地方行政委員長
(飯山市)要望書を決定した(左掲
全文は本会ウェブ掲載)。

市議会が果たすべき役割と責任が重要性を増す中、市議会には多様化する民意の集約と反映が期待される一方で、議員の年齢構成や男女の割合などの現状を踏まえ、若者や女性、会社員など多様な人材の市議会への参画を促し、市議会を活性化することが多くの市議会の共通の重要な課題となっている。また、昨年実施の統一地方選挙では、無投票当選者の割合が高まるなど、特に小規模市

議会における議員のなり手不足が深刻化している。こうした状況を踏まえ、委員会では、地方自治法改正(地方議会の役割や議員の職務等の明確化)の周知を図り、地方議会に対する住民の理解と関心

を深めるため、主権者教育の推進など、多様な人材の市議会への参画を促す環境の整備を要望している。併せて、立候補に伴う休暇制度や議員活動のための休暇・休職、任期満了後の復職などについて

め、自治体DXを推進するべくデジタル化や人材の確保等の各種支援を求めている。

なお、令和6年能登半島地震からの復旧・復興及び東日本大震災からの復旧・復興に関する決議については、別途要望書を作成して要望する。

当日は、総務省自治行政局の植田昌也行政課長が「地方行政をめぐる最近の動向」と題して、地方自治法の改正の概要などについて説明した。

委員会終了後、渋川委員長をはじめ、上野顕介副委員長(湖南市)、徳永春男副委員長(大牟田市)は、古屋範子衆議院総務委員長に面談し、要望を行った。

地方行政関連施策に関する要望事項

第100回定期総会 決議

- 1 多様な人材の市議会への参画促進
- 2 地方税財源の充実確保及び地方創生・地方分権の推進
- 3 下請けいじめの根絶
- 4 頻発・激甚化する大規模災害等からの防災・減災対策及び復旧・復興対策等

第168回地方行政委員会議決事項

- 1 地方創生の推進
- 2 参議院選挙における合区の解消
- 3 政治分野における男女共同参画の推進
- 4 消防防災体制の充実強化
- 5 過疎地域の持続的発展
- 6 広域連携施策の推進等
- 7 自治体DX推進への支援等
- 8 基地対策関係予算の確保等
- 9 治安対策の強化等
- 10 領土・主権対策等
- 11 日米地位協定の抜本的な改定及び在沖米軍基地の負担軽減
- 12 人権救済制度の確立

層推進するとともに、移住・定住以外の地域と多様な関係人口の拡大への支援の充実を求めている。また、令和2年に一人ひ



古屋衆議院総務委員長に要望(右から2人目)



枝広市長
(福山市)

冒頭、今岡会長からのあいさつに続き、開催市である福山市の枝広直幹市長から歓迎のあいさつがあった。

会議で決定した「高速



今岡会長
(福山市)

全国高速自動車道市議会協議会（会長 今岡芳徳、福山市議会議員）は 8 月 1 日、福山市で正副会長・監事・相談役会議を開催し、高速道路の建設や 4 車線化等を求める要望書を決定した。

高速協 高速道路整備促進める 正副会長・監事・相談役会議（於：福山市）

道路建設・整備促進等に関する要望書」では、高速道路の整備が遅れている区間が未だ多く残されており、本年 1 月 1 日に発生した能登半島地震では未整備地域で救助活動・物資輸送が困難となったことや、既存区間において暫定 2 車線の 4



小島監事
(朝倉市)

車線化や老朽化対策、防災機能の強化などが急務になっていることから、①建設促進②安全対策の推進③高速道路の機能向上と利便性の拡大④料金制度の 4 項目について要望している（全文は本会ウェブ掲載）。また、地元選出国会議員等へ要望活動を行うことを併せて決定した。

会議ではほか、令和 5 年度会計決算について小島清人監事（朝倉市議会議員）が監査結果を報告しこれを了承したほか、10 月に第 1 回理事会、2 月に第 51 回定期総会を開催することとした。

総務省 普通交付税大綱 普通交付税大綱を閣議報告した。

総務省は 7 月 23 日、各地方公共団体に對する普通交付税の交付額を決定し、令和 6 年度普通交付税大綱を閣議報告した。

交付額は、総額が 17 兆 5470 億円（前年度比 1・増えた。

不交付団体は 83 団体で、前年度から 6 団体増えた。

（自治体 DX 全体手順書・別冊）
外部デジタル人材の確保ガイドブック



市町村向け 外部デジタル人材の確保 ガイドブックを公表

総務省は 6 月 14 日、「外部デジタル人材の確保ガイドブック」を公表した（全文は総務省 HP）。ガイドブックは、DX の対応に困っている市町村が外部デジタル人材を効果的に確保・活用するために作成されたものであり、外部人材確保の手順についての解説のほか、自治

外部人材確保の 4 ステップ

ステップ 1	人材確保の“重点課題”の特定 関係部局からの聞き取りなどを通じて庁内の課題を確認し、優先的に外部人材の活用が必要な課題を特定する。
ステップ 2	人材要件の定義 決定した課題に応じて必要となるデジタル人材の要件等を定義する。自団体での確保が難しければ都道府県等による外部人材確保支援の利用も有効。
ステップ 3	人材の選定 人材要件、定員や予算の観点から人材の確保の形態（任用、業務委託）の検討や募集・選定を実施。
ステップ 4	人材の受入れ 登用した外部人材が円滑に現場で活躍できるようにするために、合意形成、環境整備、受入準備を綿密に行う。

（総務省資料を基に作成）

自治体による外部人材確保の事例については、外部人材活用が成功するポイントや陥りがちな落とし穴について各自治体の具体的な事例を通じて紹介している。

本会では、デジタル人材の確保について、地方行政委員会の要望書において、各地方自治体のデジタル化の現状や周辺状況を十分に把握しそれぞれに見合った助言・支援を行うこと、その際、財政的支援に留まらず自治体 DX 推進計画に例示されたデジタル人材の確保や兼務配置についても支援を行うことを求めている。

お知らせ
旬報 8 月 15 日付第 2273 号は、8 月 25 日付 2273・4 号合併号として発行します。

第4回

那須塩原市

部会長市紹介



市章

豊かな大地で育つ牛
(写真提供=那須塩原市)

【市の概要】

▽人口 11万3681人
(令和6年7月1日)▽面積 592.74km²

▽歴史・沿革 平成17年

1月1日に1市2町の合併により誕生。開湯1200年を誇る塩原温泉や鎌倉時代の源頼朝による巻狩りの史実、江戸時代における奥州街道・会津中街道の賑わい、明治期における日本三大疏水である那須疏水の開削など、歴史が刻まれている。

明治期からの開拓により、原野は農地に切り開かれ、那須野が原の広大

かつ平坦な地形に適した米作と酪農が普及。生乳生産は本州第1位。

▽シンボル 那須の頭文字Nと塩原の頭文字Sをモチーフに、山や川など自然豊かな那須野が原を表現し、オレンジ色の円は1市2町の人々が一つになって未来に向かって突き進む様子を表現している。

【議会の概要】

▽議員定数 26人(男性22人、女性3人、欠員1人)

▽前回選挙 令和3年4月25日 立候補28人(投票率42.66%)

▽議会トピックス 小中高校生を対象とした主権者教育を実施している他、なり手不足解消の一環として、令和4年度に若者や女性の政治参画を目指して議会フォーラムを開催した。令和5年度

には、那須塩原市牛乳の日を記念し、定例会議にて牛柄法被を着用した。

議長の話



山形 紀弘 議長

本市は栃木県の北部に位置し、東京都から150km圏の距離にあります。塩原温泉郷と板室温泉、三斗小屋温泉の温泉地を有し、初夏の新緑、秋季の紅葉など四季折々の多彩な表情を持っています。

また、国の重要文化財に指定されている旧青木家那須別邸を敷地内に有する道の駅「明治の森・黒磯」が令和6年4月にリニューアルオープンし、新鮮な野菜や乳製品などが人気を集めています。新しい取組に挑戦しつつも歴史ある那須塩原市にぜひお越しく下さい。

議員研修誌 地方議会人 サンプル号

共同編集：全国市議会議長会・全国町村議会議長会

chuobunkasha.co.ltd

通常号 A4判 68ページ

年間購読 9,972円(1部831円) 送料込

昨年度に引き続き、好評でした議員研修誌「月刊 地方議会人」の24年度デジタルブックサンプル版の掲載をはじめました。アプリのインストールや会員登録などは不要で、「パソコン」、「スマートフォン」、「タブレット」等ですぐに閲覧できます。

「月刊 地方議会人」サンプル版では地方議会議員・議会事務局の方々に好評の特集、現地報告、広報研修資料、議会紹介など多彩なコンテンツを「無料」で読むことができます！デジタルブックでのサンプル版となるため、「ワード検索」などにも対応していますので、ご購入前の参考として、ぜひご覧になってみてください。

サンプル号 contents

▶ デジタルブックサンプル号
はこちらをクリック

特集

- ▶ 議員の「なり手不足」問題と議員定数・議員報酬
／辻 陽(近畿大学法学部教授)
- ▶ 女性の立場から「なり手不足」を考える
／益子純恵(栃木県那珂川町議会議長)

現地報告

- ▶ 反映されにくい若者世代の声を政治に！
／鍋谷 暁(秋田県能代市議会議員)
- ▶ 教えることは教わること
／齊藤義崇(北海道栗山町議会副議長)

連載(広報・研修資料)

- ▶ 議会広報紙を見やすく、わかりやすく
／佐久間智之(PRDESIGN JAPAN株式会社 代表取締役)

連載(議会紹介)

- ▶ 【岡山県井原市議会】議会基本条例を毎年検証することの効果とは
／林 紀行(日本大学法学部教授)

連載(職員研修講座)

- ▶ 地方議会事務局Q&A 議員をサポートする秘訣を教えます
／吉田利宏(議会事務局実務研究会 議会アドバイザー)

議員研修誌「月刊 地方議会人」を推薦します

法政大学
法学部政治学科 教授
つちやま きみえ
土山 希美枝

『地方議会人』の構成にふれると、いつも丁寧に現場に寄り添っていると感じます。

議会は、とりわけ市町村議会は、議会を構成する人びと＝議員の個性や活動のつみあげによって編成される属人性の高い機構で、その運営は議員と事務局をはじめとする人々にささえられています。

「議会人」という言葉には、自治の機構を担う誇りを感じられ、その「議会人」に役立つ時機を捉えた特集があり、多様な議会人の取り組みや先駆がその本人によって紹介され、基礎的で知っておくべき知識から実践に応用できる内容まで学べる連載が揃っています。

自治の現場と一言で言っても、それはそれぞれ固有でさまざまなのですが、議会人が得るべき情報や知見を得て、それぞれの現場で活かしていけるようにと練られた誌面になっています。

議会人にとっての必読誌と言えるでしょう。

ご注文・お問合せ

TEL 03-3264-2520 / FAX 03-3264-2867

URL <https://chuobunkasha.com/>

株式会社 中央文化社